

朝日地域まちづくり会議ニュース 第2号

「将来も持続可能な朝日地域のまちづくりを考えよう」

～実践活動へ向けての取組～

実施日：平成26年10月8日（水）

会場：朝日公民館

※47058736

まちづくり会議の概要

10月8日、朝日公民館にて、「第2回朝日地域まちづくり会議」を開催しました。

朝日地域（吉佐美、大賀茂、田牛）で活動や居住されている19名のまちづくり会議委員によって、今回は、重要な3つの問題・課題について、実現のための具体策を検討しました。



グループA



グループB

グループごとの成果（Bグループ）

具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組みたい	取り組む主体			実施時期		
		行政	住民	企業	短期	中期	長期
1. 朝日の海を守る	バーベキュー等で、海岸にゴミを出さない（禁止）						
A-1-2定期的な海岸清掃	・管理をしっかりする。重要な場所は禁止する。						
海岸を現在の状態で保全する法律を	・バーベキューはキャンプ場など区域を限定する。						
F-3-5海水浴ができる環境やサンドスキー場、龍宮窟の維持	海を守るには乱開発をさせない。国立公園法により守る。						
	それでも施設ができるので、重要な自然を守る方法はないか？						
	海の景観を守る。防潮堤は景観を壊すので、最小限とする。						
	禁止するのみでなく、漁業権を持たない住民にも						
	海や磯遊びに親しむ楽しみが必要。						
	・漁業を守ることを前提として、できる企画を行う。						
2. 避難地、避難路の整備	備蓄対策。1か所のみでなく、地域で定めた避難地へ						
C-1-7指定避難場所等の備蓄の充実（大賀茂小への備蓄・避難場所がわからない）	備蓄倉庫を設けてほしい						
C-1-2（高齢者も利用できる）避難路の整備	地域で逃げ地図づくりをして、避難対策をする。						
	・高齢者対策も必要						
	大雨、崖崩れ対策も必要						
	避難対策を継続する。よりレベルアップを行う。						
3. 地域の自然・文化をPR	田牛地区のみでなく、朝日地域にある自然、歴史、文化等のマップづくりを行い紹介する。						
F-3-4ジオサイトを拠点とした国際交流	・地域住民が学ぶ・知る活動も大切。						
G-3-1タライ岬遊歩道管理	・マップを地域に配布して、住民にも知ってもらおう。						
長谷寺、青少年海の家案内、説明板を	地域のボランティアガイドがあるとよい						
	・ジオガイドへ情報の提供を行い、ジオサイト以外にも回ってもらおう						
	・学生に英語でガイドできるように学ぶ機会をつくる						

記入例： 誰が主体 / 主な主体に 2 以上の場合はメインにいつごろまでに / 短期：3年以内 中期：5年以内 長期10年以上20年未満

グループごとの成果（Aグループ）



具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい	取り組む主体			実施時期		
		行政	住民	企業	短期	中期	長期
1. 避難体制の整備 C-1-9観光客も含めた避難体制 外国語も表示されている 避難案内板等 C-1-3閉塞対策	逃げ地図をつくり、危険場所の確認をして、 地域の人々が力を合わせていく						
	・災害時に少しでも早く逃げられるよう、外国の方のために、外国の方専用の逃げ地図をつくる						
	・災害弱者の名簿づくり（地域独自で作る）						
	・外国人への防災訓練への参加の呼びかけ						
	避難道の整備（避難場所までの路の整備）						
2. 地域特性のある 環境整備と活用 G-1-1ボードウォーク管理 F-3-5海水浴ができる 環境やサンドスキー場、 龍宮窟などの維持	・いざというときの動きのシミュレーション						
	ボードウォークの修理、壊れている所がある						
	・電灯が必要（地域の方のウォーキング、お客様の夕食後の散歩に、カニが沢山見られる）						
	・ハマユウなど自然度の高い植生の保護						
	・水が汚れないように地域で生活排水対策を行う						
	県と市と地域で環境保全、観光施設の維持を行う						
	夏は海水浴、冬はサーファーが多い。 1年を通じて楽しめる朝日地域にする						
	・大賀茂から大沢に向かう道など古道があるので活用する						
	・山歩き遊歩道整備（ふるさとのおよさ、ふるさとを知る活動）						
	・外国人に自然をたくさん知ってもらうためにみかん狩りや柿狩りを紹介する			農家			
3. 外国人の受け入れと 国際観光地化 冬のニセコ、夏の下田 として世界中からの 客の受け入れ	おもてなしの心（外国人に限らない）						
	・コミュニケーションツール（言葉はペラペラでなくてもよい） みんなで勉強をする（中学生も参加）						
	・民宿の使用マナーを外国人にわかるようにパンフレットをつくる			宿			
	・ある程度大きいホテルに3ヶ国語以上の案内を置く						
	・土地の外国人との（会話）交流						
	外国人の人々との触れ合い（海老網体験・スポーツ交流）						
	・定住外国人と旅行で来ている人は分けて考える						
	・大きな宣伝をするより、口コミで増えればよい						
地域の良さをまずは地元学生に体験させる。海老網、 干物作り・5/15～9/15海老網（修学旅行生に体験）							

記入例： 誰が主体 / 主な主体に 2 以上の場合はメインにいつごろまでに / 短期：3年以内 中期：5年以内 長期10年以上20年未満

第3回は、具体的な企画書づくりと、災害後のまちづくりをテーマに行います。

今後の朝日地域まちづくり会議の予定

第3回 平成26年11月12日（水）

「企画書づくりと

災害後の復興まちづくりを考える」

会場：朝日公民館

時間：19:00～21:00

見学が可能です。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせはこちらまで

下田市役所 建設課

都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007

E-mail: kensetsu@city.

shimoda.shizuoka.jp